

**平成22年度「横浜市における石綿の健康リスク調査報告書」(案)  
を環境省に提出しました。**

横浜市は、19 年度に環境省より一般環境経由の石綿(=アスベスト)ばく露健康リスク調査を受託(他に6自治体(\*)が実施)しており、このたび、22 年度調査の報告書(案)を環境省へ提出しました。環境省は各自治体からの調査結果を取りまとめ、5 月 23 日 10 時から開催する「石綿の健康影響に関する検討会」に報告書(案)を提出し、検討を行います。

環境省は、この検討会を受けて報告書(案)の内容を見直し、後日、報告書として確定します。  
なお、この検討会は公開で開催されます。

(\*自治体：兵庫県尼崎市、大阪府(泉南<sup>せんなん</sup>地域)、佐賀県鳥栖<sup>とす</sup>市、岐阜県羽島市、奈良県、北九州市門司区)

<横浜市が提出したリスク調査の要点>

横浜市の調査協力者の状況と所見等

- 調査協力者 365 人(19 年度からの継続 141 人、20 年度からの継続 109 人、21 年度からの継続 72 人、22 年度新規 43 人)
- 調査項目 問診、検査(胸部 X 線、胸部 CT)  
調査にあたって本人の検査費用負担はありません。
- 解析・読影の実施機関  
横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会(委員 12 人)  
委員長 三浦溥太郎(横須賀市立うわまち病院副病院長)
- 所見等

(単位：人)

		胸膜プラーク所見(石綿ばく露所見)のあった人					
		ばく露歴による分類(環境省分類)					
		ア 直接職 歴あり	イ 間接職 歴あり	ウ 家族内 ばく露	エ 立入り・ 屋内環境	オ その他	
鶴見区居住歴あり	317	64	27	9	8	4	16
鶴見区居住歴なし	48	11	9	1	1	0	0
計	365	75	36	10	9	4	16

## <所見説明>

- ・「オ その他」の 16 人が、一般環境経由による石綿ばく露の可能性のある人です。
- ・ 16 人は全員継続協力者です。22 年度の新規協力者には、「オ その他」の胸膜プラーク所見の人はいませんでした。
- ・ 16 人のうち 13 人が、近くに(株)エーアンドエーマテリアル社旧横浜工場(鶴見区鶴見中央二丁目/昭和 50 年閉鎖、現在はUR都市機構住宅)があったと答えており、そのうち 11 人は工場から約 300mの範囲内に、2 人は、工場から 300m~600mの範囲内に 10 年以上の居住歴がありました。
- ・ 16 人のうち残りの 3 人の状況は、1 人は(株)エーアンドエーマテリアル社が閉鎖した昭和 50 年以降に市外から転入された方です。2 人は(株)エーアンドエーマテリアル社旧横浜工場から 1000m以上の離れた場所での居住歴となっています。
- ・ 今年度協力者には、石綿に起因すると考える疾患はありませんでした。

## <今年度の予定>

### 平成 23 年度「一般環境経由石綿ばく露健康リスク調査」について

22 年度からは、「第 2 期一般環境経由石綿ばく露健康リスク調査」として、5 年間継続して調査を行っていますが、今年度につきましても新規協力者の募集を行う予定です。調査項目・内容などは 22 年度と同一で、ご本人の検査費用負担はありません。

平成元年まで鶴見区にお住まいで石綿健康被害についてご不安のある方は、是非この機会をご活用いただくよう、お勧めいたします。

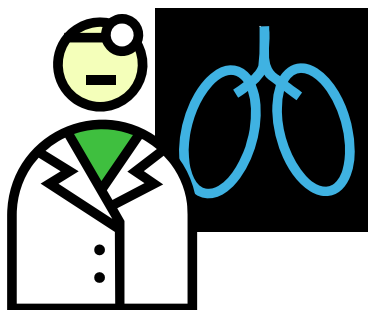
また、すでにご協力をいただいている人には、個別にお知らせします。

#### ・ 新規申込 受付期間：10 月 17 日~10 月 28 日

(なお、既に労災認定を受けている方、健康管理手帳をお持ちの方は、本調査の対象外です。)

#### ・ 調査に関するお問い合わせ・お申し込み

横浜市健康福祉局保健事業課公害保健担当 (TEL: 045-671-2482)



お問い合わせ先			
健康福祉局保健事業課	課長	仲嶋 正幸	TEL:045-671-2436 FAX:045-663-4469